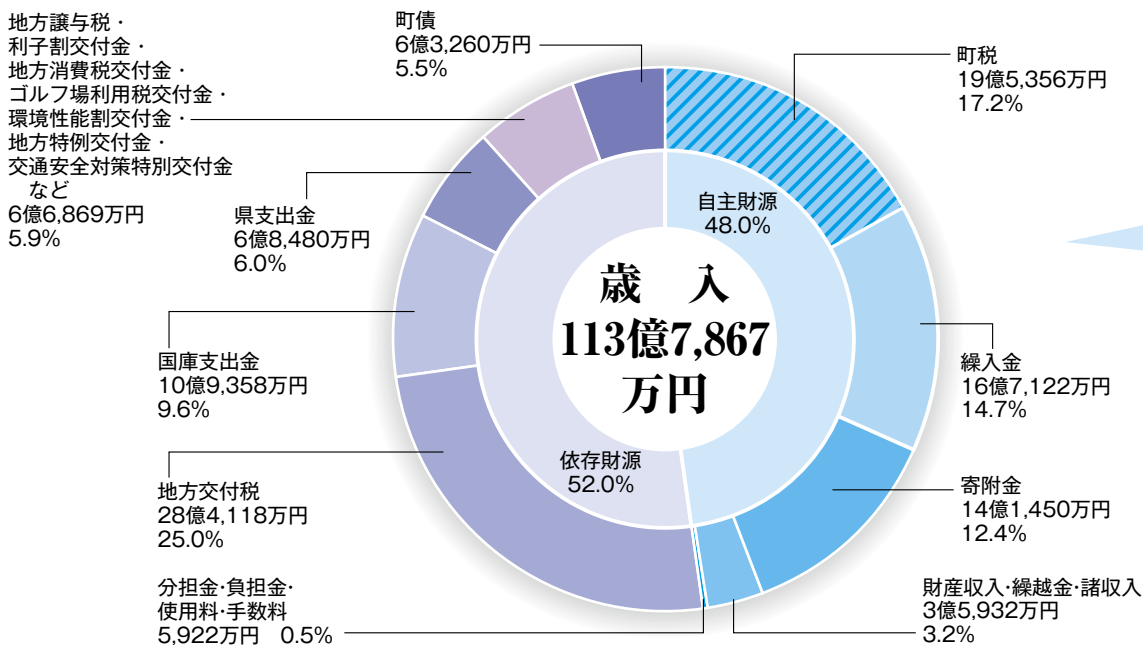


令和6年度 決算

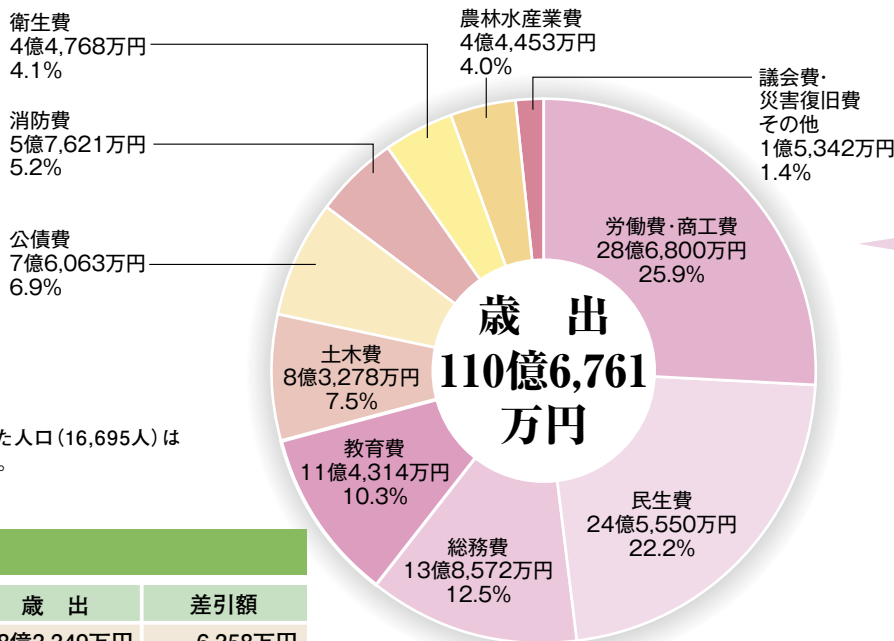
令和6年度の河北町一般会計と特別会計決算、河北町水道事業会計と下水道事業会計決算がまとめ、9月に行われた定例議会で認定されましたので、お知らせします。

一般会計歳入



町民1人当たり町税額
11万7015円（対前年度比2.0%減）

一般会計歳出



町民1人当たりに使われた額
66万2930円（対前年度比4.7%増）

※「町民1人当たり」基準とした人口（16,695人）は令和7年3月31日現在です。

特別会計

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	18億9,707万円	18億3,349万円	6,358万円
西里財産区	61万円	36万円	25万円
介護保険	24億5,465万円	24億1,056万円	4,409万円
後期高齢者医療	3億 958万円	3億 404万円	554万円

※端数処理により、誤差が生じる場合があります。

企業会計(下水道事業会計)

収益的収入と支出 収入 6億1,007万円
（消費税抜き）支出 5億9,522万円
差引 1,485万円
（利益分は、利益積立金に積み立てました。）

資本的収入と支出 収入 4億2,058万円
（消費税込み）支出 5億9,794万円
差引 △1億7,736万円
（不足分は、留保資金などで補填しました。）

企業会計(水道事業会計)

収益的収入と支出 収入 4億5,720万円
（消費税抜き）支出 4億3,530万円
差引 2,190万円
（利益分は、減債積立金と建設改良積立金に積み立てたほか、資本金に組み入れました。）

資本的収入と支出 収入 4,742万円
（消費税込み）支出 1億5,260万円
差引 △1億 518万円
（不足分は、留保資金などで補填しました。）

令和6年度の主な実施事業

労働費・商工費

ふるさと応援基金積立	14億1,159万円
ふるさとづくり寄附返戻関連事業	6億3,953万円
児童動物園リノベーション事業	2億3,018万円
かほくほくほく応援券事業(物価高騰対策)	6,676万円
企業立地促進補助	2,668万円
活力と魅力ある産業・企業支援事業	107万円

民生費

認定こども園等運営事業	4億9,162万円
うち 0～2歳児保育料の負担軽減	3,084万円
うち 3歳児以上の副食費無償化	1,124万円
障がい者自立支援事業	2億6,928万円
児童手当給付事業	2億3,056万円
子育て支援医療給付事業(高校生まで無料化)	7,110万円
住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業	4,739万円
かほく安心子育て応援事業	2,635万円

総務費

定額減税補足給付金等事業	1億8,303万円
IT推進事業	1億1,791万円
移住定住推進事業(住宅購入支援など)	3,332万円
町制施行70周年記念事業	2,828万円
地域振興総合交付金事業	1,954万円
危険空き家対策事業	1,096万円
地元回帰促進住宅開発事業	50万円

教育費

学校給食センター運営事業	1億8,243万円
うち 給食費完全無償化	7,002万円
放課後児童クラブ運営事業	9,365万円
ICT教育推進事業	2,401万円
教材備品・図書購入	1,925万円
電子黒板購入	1,155万円
谷地高等学校支援事業(就学応援券給付など)	923万円

財政健全化判断比率

(単位: %)

	実質赤字 比率	連結実質 赤字比率	実質公債 費比率	将来負担 比率
令和6年度	—	—	9.5	14.4
令和5年度	—	—	9.1	17.5
令和6年度 山形県平均	—	—	9.1	36.2
令和5年度 全国市区町村平均	—	—	5.6	6.3
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	

「実質赤字額」「連結実質赤字額」がないものは「—」(比率なし)を記載しています。

一般会計

令和6年度の決算額は歳入が113億7,867万円、歳出が110億6,761万円となり差引額は3億1,106万円となりました。

このうち、突発的な災害や緊急を要する経費に備えるための財政調整基金に2億3,000万円を積み立て、8,106万円を令和7年度に繰り越しました。

令和6年度は児童動物園のリノベーションや押切地区の排水処理施設整備、町制施行70周年記念事業の実施などにより歳入・歳出ともに増加しました。

企画財政課 財政係 ☎(73)5165

土木費

町道整備事業	1億1,054万円
道路除雪事業	7,076万円
除雪機購入	3,883万円
持家住宅促進事業費補助	3,044万円
定住促進住宅リノベーション事業	2,338万円

消防費

押切地区排水処理施設整備事業	1億9,003万円
消防施設・消防団備品整備事業	807万円
防災行政無線更新事業(調査設計)	418万円

衛生費

予防接種事業	5,461万円
健康増進事業	3,237万円
路線バス事業	2,819万円
母子保健事業	1,677万円

農林水産業費

日本型直接支払事業	8,823万円
農村環境改善施設運営事業	7,365万円
魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業	3,809万円
新規就農支援事業	2,917万円
農商工連携推進事業	546万円
枝豆・大豆栽培推進事業	269万円
有害鳥獣被害対策推進事業費補助	13万円



▲児童動物園がリノベーションされました。(かほくまなび館ずーいく)

資金不足比率

(単位: %)

	水道事業会計	下水道事業会計
令和6年度	—	—
令和5年度	—	—
経営健全化基準	20.0	

「資金不足比率」がないものは「—」(比率なし)を記載しています。

特別会計・企業会計

町の特別会計には国民健康保険、西里財産区、介護保険、後期高齢者医療が、企業会計には水道事業、下水道事業※があり、いずれも黒字となりました。

※令和6年度から農業集落排水事業及び公共下水道事業は、地方公営企業法を全部適用し、公営企業会計へ移行しました。

健全化判断比率・資金不足比率

令和6年度決算に基づき、健全化判断比率・資金不足比率を算定した結果、いずれも早期健全化基準と経営健全化基準を下回っており、健全化の判断基準を十分に満たしている状況です。

今後も事務事業の検討や経費の適正化を図り、効率的で効果的な行政運営に努めていきます。